

東京府下各新聞社下附原稿

外務省

REEL No. 1-0152

0234

元モ之ヲ敗ルニ何カ有ラシ世ニ其兵職トスルガ後備
 止リテ進撃ハ必使及ビ村ト大尉ノ許カレルガ方
 ノ如キ事ヲ俾ス然ルハ況ヤソノ域内トシテノ操トモ
 頼ムキノ要碍トモヤ況ヤ軍部中ノ屬トモ保ノ者探ス
 ルガヤ而シテ必シ軍律ヲ失ハス故ヲ防御示スルヲ
 コリ其言戦而思ラフ事ナリ故大役ノ多感ニ至ルヤ其言
 戦中ニシテ其純律ヲ失ハス後備ノ名ト背カレテ南カシ
 深ノ其言ヲ賞賛セシキリト世ハソノ或ハ支那兵ヲ進撃
 セリトシ誹ル事ナリ又其言ヲ知ラカレ者ナリ

西陸新聞社

外務省

朝日新聞社

自由新聞社

三益社

毎日新聞社

中央日報

西報

又光社

朝野新聞

時事新報

時事新報

時事新報

之大使皆之。答謝也。通辨津山顯藏一之之ヲ
 傳ハ彼ノ譯官有リ。次ハ大使隨員ヲ國王ニ紹介セ
 之。隨員以テ自ツ其席ニ進ミテ一礼ニ各左階ヨリ下
 リ退出ス。謁見ヲ済ム。隨員ハ左ノ如シ。
 陸軍中將 勳四等 高島勲三助
 海軍大將 勳四等 子爵 樺山資紀
 外務權大書記官 勳四等 近藤實
 特命全權大使秘書官 勳四等 文
 步兵中尉 勳四等 友田美喬
 一等警備總監 勳四等 石坂惟寛
 一等警備總監 勳四等 安立利綱
 外務權大書記官 勳六等 齊藤修一郎
 步兵少佐 勳四等 野田時敏
 外務省
 步兵少佐 勳四等 土屋光春
 步兵少佐 勳四等 長谷川良之
 海軍少佐 勳六等 齋島員規
 步兵大尉 勳六等 香川景俊
 步兵大尉 勳六等 中村 覺
 砲兵大尉 勳七等 田中時郎
 砲兵大尉 勳七等 草間時雄
 海軍中尉 勳七等 三浦重郷
 海軍中尉 勳七等 吉田 鏡吾
 高島樺山及近藤實は在留ル國王ヨリ大使ニ特別
 談話セラル。所ハ以テ一人ノミ留ラシ。諸ハ大使モ亦
 々莫ス。所ハ以テ在留侍臣ヲ遠クシテ清ク國主ハ
 議政府ニ大臣及通譯ヲ留セテ清ク因テ大使モ亦

高嶋樺山及ヒ竹藩公使ト通辨ヲ留メニテ清ク互ニ
 領諾シ王ノ侍臣皆去リ直ニ藤書記官モ亦退ケリ此時
 國王ヨリ大仗ニ座ヲ賜フ可時有リテ大使休憩所ニ回
 リ越前辨及ヒ欲添政左右議政等亦来リ大使及ヒ
 隨員ニ酒菓^{シヤンパン}ヲ賜フ大使越前辨ト後指者
 リ又可時ニテ大使也^{シヤンパン}領議政以下送テ小門ヲ出ツ大
 使仁政殿ノ前ヲ過テ^{シヤンパン}興ニ先帰結前ノ如シ午後
 ニ時半館ニ帰ス

外務省

一月十二日午前十一時退級主麻之於テ新設
西出番也ハ様中才尉以下諸士民ノ為ニ振務
等行共感其恩也云々

予前テ一信仁州知事彼前ニ請死之者ハ此
名ノ家先白旗並ニ紅旗共計ハ予ニ流テ列
ネホ共ニ山隊能アリ 惣列シテ主竹添ハ彼
ノ也ハ待テ右如リ其ノ前ニ後ニ様々ナ兵
竹添ハ其ノ後ニ進テ行ス大使之ニ副
領ノ及テハ様長士官等屬欠其片ニ章ヲ
ニ官別比留日進艦ノ水兵も一列ニ惣列シ奈
王及大佐ノ前ニ召入リヤ様鏡ノ致レテ物ニ集
テ大使ノ後配トシテ後トシテ進テ先リ河濱ノ
振務場ニ至ル川内ニ大船アリ 着服頗ル豊ナリ

外務省

此等竹添ハ先リ様中才尉ノ為ニ奉文ヲ様
次ニ致書書皆様々至リ各兵卒ノ為ニ奉
文ヲ様々送リ大佐以下様々ノ兵士官等
賞中者ハ新解給テ人ノ手亦々々ニ給テ
水兵等々亦ハ惣列シテ吊係ヲ表ス右等々
人等共ニ其ノ為ニ至リ亦々々ニ竹添ハ其
為ニ其ノ為ニ至リ亦々々ニ様々ケ下ニ其
如シ

毎日新聞社

方領新多記中

<p>本月廿日午後達来丸仁川港ヨリ馬関ニ至る迄凡日 <small>南</small> 西民報 井上時次全權大使、一行ハ旧臘三十日 午後八時別舞國濱物浦、無恙到着日九時上陸シ 仁川領事館ニ旅宿ス當時港内ニ碇泊、船艦ハ我 邦ノ比敵艦日遊艦并達来丸其他ハ英露他三 國ノ軍艦各一艘ソナリ本月廿日井上大使入京ノ 用意ヲカサシムルカメニ隨行員ノ内マシ京城ニ居キ ハセリ日二日朝鮮國接待員ハシテモシヨリ、并シテ 西氏京城ヨリ来リテ大使ヲ訪フ且又國王殿下ノ特使トシ 内官ボクランセンビ氏トシテ旅館ニ駐ル井上大使ハ本月 三日或ハ四日ノ内入京ノ儀ハ定マリ又清國欽差吳大 澂ハ去ルニ九日朝鮮ニ到着シ又護衛兵ハ平壤ニ京城</p>	<p>ニ入リ見送リ</p>
---	---------------

外務省

五月十三日下

朝鮮通信状 光緒六年四月廿日

京畿道驪州ニ於テ地方官田祖成三ノ名高ノ所
田祖成三ハ驪州府ノ一結ニ在リテ其ノ官年々
 四道アリテ其ノ結ニ在リテ其ノ官年々 州民諱然ト
 シテ起リ至キ本月二三日使諺州牧使ノ名道リ柳
 役人ヲ殺セヨト洩キタリ牧使金永直首吏尹甫吉
 其他役人ハ其勢ニ恐レテ府ヲ逃ケ去リ判書文泳緯ノ
 宅ニ匿ヒタル由リ乱民ハ閔氏ノ宅ヲ圍ヒ首吏尹甫吉
 ラ引渡サシメテタリシニ判書文泳緯之ヲ許サズ且其亂
 暴ヲ呵シ收僕ニ命シテ累殺シテ遂ニ亂民トセシニ亂
 民大ニ怒リ數千人同古相懸シ思キ判書ノ家ヲ
 步級ヲ誅首吏ヲ引出シ終ニ之ヲ改殺セリト云フ此電
 報ニ依リ達スルヤ國王ヨリ別軍職度旨植兼旨度
 而更ニ命皆道南而緯子ニシテ親軍兵五百名ヲ付セラル

外務省

彈壁ノ為ニ驪州ニ兵向ケセタリ但此由ノ騷動ハ驪
 州人民一體ニ起リタルコト乱民ノ人數ニ万人ト云フ
 此五百親軍ノ威カ果シテ能ク之ヲ鎮靜シ得ル者
 未タ後勢ヲ察ス此後親軍ノ威カ果シテ能ク之ヲ鎮靜シ得ル者
 未タ後勢ヲ察ス

官國科擧ノ制實申己亥ノ歲ニハ初試ヲセシキ午
 卯酉ノ歲ニハ會試ヲナス例ナリ本年ハ卯酉ノ會試
 ノ歲ニテ本月七日ヨリ其式ヲ開ケリ但此會試ハキ
 五百名中ヨリ進士百名生員百名ヲ取ル例ナリ然レ
 ニ此項國王暇直ノ別軍職度旨ヲ賜キ午ヲ迎シ本
 年試士ノ内維ニテモ千五百員文ヲ潜ル國王ニ獻知ス
 ル者ハ必ス進士ニ及ルセシムルハ証諸ト云フ由ニテハ
 ヨリ出ルキ為メ爾等遠國ヨリ皇ノ先補士等五ニ注
 目シ一日ハ高シ地ケリ多クハ會試ヲリ歎名出ル日

三至り果ミテお曲アムヲ知ラハ大措ノ誠士或ハ祇場ヲ
 才毀スルガ又ハ王宮ニ迫ルカ必ス一場ノ駭動ヲ見ル
 ニ至ルハ此レ替ニ教皇スル者アリ
 三三迄日本或ハ称スル高國親軍ノ兵隊ハ今
 般徳ヲ清或ハ夏更セラシ清兵ノ教皇ニ就テ其武
 ヲ學ブツトシテリ殊也王ノ皆之ヲ教ト日本或ハ維
 持セシヨクモ其信或ハ長事セサレハ以東館屋
 ヲ傳止スリノ命合アリ云々傳ス皆其年ニ於
 リト

外 務 省

新報社
時事 小阪昌冬
即
日本
忠告 新島 五川 志方
三益 江 吉 達 用 彰 三 郎
日 報 社 大 田 野 英 夫
如 口 社 中 野 三 貞 夫
月 結 札 今 子 一 三 三 三

REEL No. 1-0152

0248

二月四日初郵政局閉業祝賀女子遊んで
 方ふ公校民朝鮮不語官負ク招キ其官
 既ニ畢ル頃日局ノ裏キニ失火アリテハ官中
 モ混雜シテハ際ハ凶徒ハ馬ノ遊前ニテモ
 然レハ向者トモ知レ見者五名名曰ク切附テリ
 局内ニ居ル諸人ハ不取敵の心ヲ欺テ凶徒ヲ追テ
 夫ニ伺レカ逃去リテ又内ニテハ諸人ハ抱
 シ又日在軍醫團サモテ治癒ヲ施サレテ生
 ニ別状ナキヲ為ナリ曰ク市中モ諸方ニ失火アリ
 然レハ向者此處ニ来セザル人々ハ王宮ニ至リ感
 私宅ニ歸リタリ
 甚夜半國王ヨリ使ヲ遣フ竹波公使ニ申
 外務省
 一ノ京城騒擾ノ様子アル者ニ赴キテ
 王宮ヲ守ル護衛セテ内官ヲ以テ依敷セラレ
 然レハ公使ハ唯マ口收メテ事情モ知ラサレハ
 俄ニ驚セラレタルハ今後ハ別ニ國王ノ直書ヨリ
 内官ヲ更ニ護衛ノイリ依敷セラレテ公使
 モ亦キ護衛ヲ受テ王宮ニ入リテモ
 ニ其前ニ王宮諸々ニ失火アリテ政ニ急使官
 ニ遣テ年々セシレハ何所ハ年々ハ朕臨ナル類
 ニラ重ニ太子載元(手遊見也)ノ部ニ西遊ラレタ
 ニ王大妃ノ御意ニテ丹ヒ王宮ニ還幸セリ
 フレハ其意ニテ者ノイリテ此際甚々混雜ヲ極
 タルヲ以テ日在護衛兵ハ王宮ニテ手居間
 近傍ヲ警備シ出入ヲ誰何シ一々其姓名ヲ王

王宮の無火ノ事ニ始烟ノ中ニアリシ
 然レテ其ノ其ニシテ後門ヲ出ラレトシテ其ノ所
 ヲ警衛ヤル朝鮮兵ノ既ニ清兵ト合シ王大妃
 ヲ奪ヒ茲ニ屯陣モんカハ王ノ公使ニ向テ
 賂ニ死ストモ女王ト居ラシテ欲スルヲ急ニ速
 ハラシメリ然レニ支那及ヒ朝鮮兵ノ我ニ警衛
 ニ向テ陣營セルヲ以テ竹添公使ハ此兵日守兵
 ナリテ王ニ危從スルトキ其認難能ト至テ身
 置トモシテテ辱リ事難キ事ト云ハシメリ
 王ノ意ニ從テテ其地所ヲ解セラシ路ヲ王宮ノ
 後山ニトリ日守兵ヲ率テ公使ヲ殺シ四逃ラ
 トテ途申敷ク爲テ於テ朝鮮兵支那兵ノ
 砲撃ヲ受テ我兵之ニ砲撃モんカハるノ御兵

外務省

為散亂逃走セリ公使館ノ前後ハ皆モ
 散亂ノ者ヲ見テトモ矢石砲丸ヲ發射
 セシモノアリタリトモ此に職工亦本館
 ヲ防衛シ彼兵ハ公使館中ニ入来ルモノ
 ナリ幸シキ兵種大ニモ置テウサリキ
 門戸ヲ護衛セシ任長一名兵卒二名死傷
 セシ也ナリ
 亦モ其花ハ市中敷々ニ哨兵ヲ置
 ルニ又敷々ニ警備火槍ヲ焚キ公使館ノ後
 ノ町場ニ兵隊等陣列スルヲ見受テ
 ナリ
 七日朝ニテ朝鮮人ト思ハシキ者ガ公使館
 瓦瓦ヲ放テ其外砲臺ヲモナシタリト
 皆テ我兵之ヲ追拂ヒタリ午後四時頃
 引揚ケルヲ決定セリ館員兵日存人ノ
 ニテ難ク避ケテ上ニ仁川港ニ向テ出
 レタルニ京城南門ハ嚴ニ閉鎖モリ
 傍ラ我職工ホリシテ之ヲ破ラシメ
 容易ニ通過セリ其前南門門道傍ニ
 於テ朝鮮人等無シテ物ト思ヒキ者
 一行ニ對シテ砲撃セシモ幸ニ
 一行中負傷者ナカリキ
 仁川ニ至リ途中為テ伏兵アリテ
 我一行ヲ襲撃セシ者アリ我兵之ヲ
 散亂ニ走リセリ其途中公使館ノ方
 角ニ當リ矢ノ揚ルヲ見ル蓋シ公使
 館ノ火ニ燃ヤシムルヲ見ルニ
 四日ノ夜王宮内ノ混雜ノ者ノ刺客
 三殺害セリ

外務省



<p>元若事大虎中ノ重立ル人々ノ中ニ</p>	<p>凶台錫 車恭駿 趙夢白友</p>	<p>韓圭稷 李祖淵 凶泳稷</p>	<p>又獨立党ノ洪英植 國平ニ隨從シテ支</p>	<p>那等ノ中ニ至リ先ニ宮中ニ於テ公然斬ラ</p>	<p>レテリト其他金玉均朴泳孝等ハ行衛</p>	<p>知レタ</p>	<p>吾ノ朝報 朝鮮朝廷日記即チ安報ニ的</p>	<p>政權ヲ治ス洪英植ハ議政、朴泳孝ハ前衛黨</p>	<p>使兼九捕盜大將、徐光範ハ外衛門協弁、</p>	<p>金玉均ハ條約常惠商局尚書上、續キテ同</p>	<p>氏ハ戶曹判トナリ又朴泳孝ハ申寫善</p>	<p>李載完ハ承旨トナリ邊燧ハ致吳ハ外衛門</p>	<p>外務省</p>	<p>矢議トナレリ</p>									
------------------------	---------------------	--------------------	--------------------------	---------------------------	-------------------------	------------	--------------------------	----------------------------	---------------------------	---------------------------	-------------------------	---------------------------	------------	---------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

二月十二日午後一時四十分馬場電報

朝鮮使節一行一昨十日午後三時馬場着昨十一日午前三時三光丸乗組三神戶向夕出帆

外務省

三友社

後進社

毎日

東京新聞

報知

毎日新聞

丸の内

乙井信

日 報 社

大正 10 年

東京 10 月

10 日

丸の内

丸の内

丸の内

丸の内

丸の内

二月十一日午後七時三十分馬関

電報

朝鮮正使の程相兩副使のモルトル外に
隨員六名あり

外務省

REEL No. 1-0152

0255

會自由新聞社
 三條佳為
 之益社
 石井 昌海
 見光社
 勝作吉
 静三郎
 報系
 藤井 昌海
 朝井 昌海
 乙井 昌海
 京社
 松平 昌海
 仍口也
 岩倉 昌海
 日 報社
 大 野 昌海
 時 昌海
 友 昌海

二月十三日午後一時
石本領

二月十三日午後一時五十分神戸電報

朝鮮便船一行明正、午後一時出

候九、午後一時出航、午後一時出

二月十三日午後一時五十分釜山電報

吳大澂、本月八日漢陽府より麻物

浦、清國軍艦、接山海関、向出

外務

省

見之社

ついでに

三つ

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

ついでに

REEL No. 1-0152

0258

此原稿其筋目下付せり杯記スハカラス
各新聞社々自ラ倫敦の事スレヨリ譯出シタルトス(ト)

九ノ報道ハ去月九日発売先倫敦タイムズ新聞ニ朝鮮
變亂ト題シテ掲ケル所ノモノナリ

十月十九日北京發朝鮮變亂ノ通信 今面朝鮮ノ叛亂ハ

曩キ八百八十二年ニ今王ノ生父ヲ擄ヘ公然清國ニ虜囚トシ

タルトキト曰ク開進ニ反對スル陰謀ヲ起ルモノナリ然レモ

其近事ニ關シテハ未タ充分ナル報道ヲ得ス

十月四日夜糧官ノ闕ナルハ王宮ノ近傍ニ火アルノ警アリ

ヲ報ス近頃歐洲ヨリ遊遊セル所姓ハ戸外ニ出テ

外務省

ルニ数名ノ刺客ニ遭ヒ其刺ス所トナリテ而シテ後千廷堂者ハ

王宮ニ迫リ先リテ王日帝公使ニ請ヒ其護衛兵ヲ率ヒテ

王宮ニ入リ衛セシメテ水ヲテリ其夜ノ夜半前ニ宰相六名ハ

人ノ爲メ殺サレタリ

六日朝鮮人再ヒ王宮ヲ襲ヒ半衛ヲ起セリ此時支那人モ攻取者

ノ中ニ現在セリ王宮ニ入衛セル日帝護衛兵ハ死者五傷

者五人ニシテ清兵ノ死傷ニ對シ衆寡當リ難キヲ見テ終

王宮ヨリ公使館ニ引揚ケ去リ支那人ノ手ニ落テテ爾後驛留

其清國之藩屏スルヲ承認セシメントセリ然レモ爾後ハ

ハリリバクスノ條約ヨリ更ニ朝鮮ノ獨立ヲ承認

スリトナリ今 朝鮮ノ地位ハ如何ク繁雜ナリトモ 後未

於テ多少ノ葛藤ヲ起シタルベキハ 朝鮮ノ獨立ヲ所ナ

ベシ

清國ノ主權ヲ朝鮮ニ行ヒトシテ其藩屏附庸ノ虚榮

ヲ取ラントスルノ一事ハ 朝鮮ニシテ其内治ノ政ニ困難ナルニ

カフニ更ニ外交ノ困難ヲ以テセシムルモノナリ即チ清國ノ朝

外務省

政ニ懸々タル 藩屏ノ利ハ如何トモ 朝鮮ノ國力東洋

諸ノ地ニアルヲ以テノ故ニシテ 政事トナリタルモノナリ

三益社
海軍新報
毎日社
慶應義塾
又老新報
神田左三
牛車水新報社
考村稿
力業社
二年作報
朝日新聞
日新報社
南本
七野石太

REEL No. 1-0152

0263